

# 芸術文化選奨

受賞年度：令和4年度

受賞区分：文化新人賞（個人）

氏名又は団体名	にせい いのうえ まつじろう（ほんみょう いのうえ やすひろ） 二世 井上 松次郎（本名 井上 靖浩）		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	名古屋市	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要
<p><b>分野：</b> 能楽</p> <p>能楽狂言方和泉流の四世井上菊次郎氏の長男として生まれ、祖父及び父の指導の下、狂言の技芸を習得、7歳での初舞台以降、着々と研鑽を重ねてきた。現在までに「釣狐」、「花子」等、流儀秘曲の難曲を順調に抜き（初演）として上演、名古屋を中心に県内外の公演に多数出演するなど、精力的に活動している。また市町村主催の能楽体験講座や小中学校での伝統芸能訪問授業などの講師を務めることにより、狂言の魅力を次世代にも伝え、能楽の普及に尽力するなど、本県芸術文化の向上に貢献し、今後もその活躍が期待されている。</p>



文化庁支援事業 井上松次郎主催公演  
『狂言菊松会（きくしょうかい）』『靱猿（うづぼざる）』  
（名古屋能楽堂）（令和4年）

経歴・業績・近年の活動内容
<p><b>【略歴】</b></p> <p>昭和46年11月 埼玉県大宮市（現さいたま市）に生まれる            平成7年3月 東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業            平成25年10月 二世井上松次郎襲名            平成26年4月 公益社団法人能楽協会名古屋支部副支部長就任（現職）            平成26年7月 重要無形文化財総合指定保持者認定            平成29年6月 豊田市文化奨励賞受賞            平成30年10月 とよしん育英財団教育文化奨励賞受賞</p> <p><b>【近年の活動内容】</b></p> <p>令和2年8月 「東京2020オリンピック・パラリンピック能楽祭」出演（国立能楽堂）            令和3年1月 創作狂言「地獄大変」演出・主演（豊田市能楽堂）            令和4年3月 「バリアフリー能」主演（横浜能楽堂）            令和4年9月 愛知県建設局主管「ブラアイチinあま」にて創作狂言「冥加さらえ」再演            令和4年11月 やっとかめ文化祭10周年公演として創作狂言「井戸茶碗」主演（名古屋能楽堂）</p>